

議会だより編集特別委員会

平成21年11月11日～12日、東員町役場・彦根市役所・南山城村役場（岩手県矢巾町と2町1村による合同研修）を訪れ、議会だより編集に関する視察研修を行った。

各市町村の議会だより発行の目的は、議会活動の重要な広報活動と考え、その土地に暮らす人々の過去・現在・将来像をタイムリーに情報伝達することである。その役務を果たすための創意工夫が伝わり、共通点なども含め意義深い研修となった。

共通点は、年間発行数4回とし、定例会終了後に、行政広報誌の発行日に合わせて経費節減をはかっていることなど。特に、表紙は子どもたちの明るい表情や笑顔の写真を掲載することに



南山城村役場での研修



矢巾町との合同研修

よって、町民の関心や反響も多い。また、写真撮影の了解を得ることは、基本的に報道の自由と考えるため、特に苦情はない。この説明が印象的であった。

編集方針は、記載内容の公正・中立な立場で客観的な編集と議会内における意見の対立を持ち込まないことや事実の報道に努め、評価・論評に属する記事は避けること。また、一般質問の原稿は事実と異なる場合、編集委員の責任で修正しているという。

今後の課題は、高齢者に優しく文字を大きくすることや、より良い「架け橋」となるよう、企画の充実と読み手の関心を高めることである。と説明された。編集委員一同、さらにより良い議会だより編集に努めたいと認識し研修を終えた。

（委員長 星野靖江）

議会活動報告

平成21年11月9日、東郷町役場2階大会議室で、第44回愛知郡町議会議員大会が開催されました。同大会には愛知郡内の東郷町、長久手町の町議会議員、首長、来賓らが出席し、両町からの提出案件が審議され、大会決議が行われました。決議された「大会決議」は、下記のとおり。後日、決議事項の実現のため、愛知県知事や県議会議長などに、愛知郡町村議会議長会として要請を行いました。



大会決議

我が国を取り巻く環境は、外にあっては世界同時不況と資源環境制約の高まり、内にあっては少子高齢化、格差の拡大傾向、財政悪化など、内外の難局が同時かつ複合的に押し寄せている。地方公共団体の課題も社会の変化とともに住民の生活や意識が多様化し、少子高齢化、防災対策、環境問題などそれぞれにからみ合っ

て複雑化してきている。今、地方行政に求められているのは、自らの手で困難を克服し、困っているときは助け合い、励まし合う、すなわち「自立と共生」の考えを基本理念とし、住民一人ひとりが真の豊かさを実感できる地域社会へと変化させるため、住民本位の信頼される政治や行政の実

現に向け、全力で邁進することである。

将来の不安を無くす仕組みをつくり、その基礎の上に、誰もが成長を実感できるような地域社会を構築するため、地方の安定財源の確保と社会保障制度の充実、地域経営につとめていくべきからざるものである。

ここに、愛知郡町議会議員が一堂に会し、結束し、行動するために決意を表明し、下記事項の早期実現を図られるよう強く要請する。

〈記〉

- ① 高齢者福祉及び障害者福祉対策について
- ② 地方財政の充実強化について

第44回愛知郡町議会議員大会